

第2回「眼振なんてこわくない！」 —めまい診療が楽しくなる 眼振のとり方・見方・活かし方—

「眼振が苦手」から「まず見てみよう」へ

対象

医療関係者どなたでも

参加費

無料（先着500名）

*テーマおよび日程は変更になる場合がございます

お申込みはこちら

URL <https://forms.gle/JkATLoaLLLLMZbdjV7>

定員に達しましたら締め切らせていただきます



日時

2026.9.16 (水) 19:00~20:30

第1回「さらば、めまいアレルギー」に続く第2回のテーマは、「眼振なんてこわくない！」です。眼振が大切なのはわかっていても、「観察に自信がない」「Dix-Hallpike だけで良いの?」「診断にどう結びつければいいのか」と感じたことはありませんか。横井先生と阪上先生には、眼振のイロハから、専門的な検査体制がなくても診察室で実践できるコツまで、明日から役立つ内容を分かりやすくご講演頂きます。今回もディスカッション形式で十分な Q&A の時間を設けています。「眼振は苦手」から「まず見てみよう」へ。診察室での次の一步につながる Webinar をお届けします。

登壇者



よこい じゅん

横井 純 先生 神戸大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学 助教

神戸大学の横井と申します。大学では、耳科手術とめまい・顔面神経外来を担当しています。専攻医の頃はめまい診療に苦手意識がありましたが、めまい外来を担当するようになり、典型的な疾患でみられる眼振のパターンや見方を学ぶことで、少しずつ診療への抵抗感がなくなりました。眼振をみることは、問診とともに、めまい診療の大きな武器になります。この Webinar が、明日からのめまい診療で、少しでも「眼振をみてみよう！」と思えるきっかけになれば幸いです。



さかがみ まさはる

阪上 雅治 先生 奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科
仙台・中耳サージセンター 将監耳鼻咽喉科

現在、私は仙台中耳サージセンターで1年間の中耳耳科手術の研鑽を積んでおります。これまで大学院や留学を通じ耳科・神経耳科の基礎および臨床研究に従事するとともに、外来で多くのめまい患者さんを診てまいりました。実際の現場では大学病院やクリニック等の制約により、同一医師でも診察スタイルを変えるのが実情です。本日は眼振所見の取り方の「実際のところ」に関し、現場の視点から忌憚なくお話しできればと思います。

Faculty



いぬい たかき

乾 崇樹 先生

大阪医科薬科大学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
診療准教授

Program

内容	発表者	時間
オープニング	堀井理事長	5分
司会進行	乾先生	
「眼振をみてみよう！」	横井先生	(25分-30分)
「外来診療の実際のところは？」	阪上先生	(25分-30分)
Q&A、ディスカッション、クロージング	—	20分